

美しが丘北防災新聞

発行
美しが丘北
自治会
2019年
7月25日

ハザードマップなどで避難行動を確認



地域のアンケート結果で多かった意見が「逃げるタイミング」と「どこに逃げたらいいか解らない」でした。防災気象情報と警戒レベルでもあったように避難行動を決めるのは自分自身です。台風や大雨は「予測できる災害」です。毎年のように災害が起こるようになってきたためにテレビやラジオ、インターネットと災害情報はどこからでも入手できるようになりました。危険と予想される時には早めに行動を起こしましょう。日頃から避難できる場所への経路を確認し危ない場所が無いか安全に行動できるか家族で話し合う事が大切です。警報が出たら自分の今いる場所が危険か危険でないかを判断してください。

防災気象情報と警戒レベル

「避難勧告等に関するガイドライン」が平成31年3月に改定され、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなりました。自治体から避難勧告（警戒レベル4）や避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）等が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難勧告等よりも先に発表され

ます。このため、避難が必要とされる警戒レベル4や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難勧告等が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。（気象庁HPより）

避難所の開設情報

は自治会長に連絡が入ります。自治会のホームページでも情報が入り次第発信できるように体制を整えていきたいと考えています。宝満CATVでは空いているチャンネルを利用した防災放送の検討を始めているようです。

【「美しが丘北自治会 防災訓練」実施します】

日時：令和元年11月17日（日曜日）9時～12時
内容：震度6以上の地震が発生したと仮定しておこなう隣組単位の安全確認と情報伝達の模擬訓練
公民館での防災学習と非常食試食会
6月16日、7月14日と会議を進めて大まかな内容が決まりました。ホームページでも、会議の内容、防災情報などUPしていきますのでご確認ください。